

1. はじめに

平成29年度の世界経済は、全体としては緩やかに回復した。先行きについては、緩やかな回復基調が続くことが期待された。ただし、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要があるとした。

こうした中で平成29年度の当工業会の事業としては、1) 国際展示会の開催に関する事業 (JIAM2020の取り組み)、2) 家庭用ミシンを使ったモノづくりの普及促進 (家庭用ミシン事業)、3) 工業会活動の活性化及び効率化の推進、4) 知的財産権保護対策の推進 (使用技術の普及及び啓発に関する事業) 等を行うとともに、業界の発展に係わる諸課題の克服に向けて各種事業を実施した。

2. 活動概要

1) 国際展示会の開催に関する事業

当業界及び当業界に係わる繊維業界の活性化と発展を期して、「国際アパレル機器&繊維産業見本市 (JIAM2020)」の準備を進めるために以下の事業を実施した。

(1) 開催概要

- ①会 期：2020年5月20日 (水) ～23日 (土) <4日間>
- ②会 場：インテックス大阪
- ③主 催：一般社団法人日本縫製機械工業会 (JASMA)

(2) JIAM2020実行委員会及びWGの開催状況

本年度はJIAM2020実行委員会を2回、JIAM2020実行委員会WGを8回実施して、開催テーマ、企画運営事業者、収支予算書、出展案内などを検討した。

(3) 国内外展示会におけるJIAM2020のPR活動

JASMAブース、JAPANパビリオン等を出展し、当工業会及びJIAM2020の広報活動を行った。

①Texprocess 2017

- 会 期：平成29年5月9日 (火) ～12日 (金)
- 会 場：Messe Frankfurt (ドイツ・フランクフルト)

②FISMA2017

- 会 期：平成29年9月20日 (水) ～21日 (木)
- 会 場：東京ビッグサイト

③CISMA2017

- 会 期：平成29年9月26日 (火) ～29日 (金)
- 会 場：上海新国際博覧中心 (中国・上海)

④第50回大阪ミシンショー

- 会 期：平成30年2月16日 (金) ～17日 (土)
- 会 場：インテックス大阪2号館

(4) 海外関係団体との交流

2017年12月4日、中華民国紡績業拓展会、台湾縫製機械協会、台北縫製機械協会を表敬訪問し、JIAM2020開催に向けて協力を依頼した。

(5) JIAM2020ホームページでのPR活動

(6) JIAM2020ニュースリリースの発信

- ①2017年9月20日 (水) 「No. 17-02 開催テーマ決定! 「次世代技術と匠の技のコラボレーション～JIAMから発信～」」
- ②2018年1月11日 (木) 「No. 18-01 2018年5月より出展募集開始!」

(7) JIAM2020出展案内の検討、JIAM2020企画運営事業者の選定等

2) 家庭用ミシン事業

ユーザーニーズが「画一性から個性化へ」と移行しつつある環境に応え、ホームソーイングへの親しみの場を設け、家庭用ミシン市場の活性化に努めるとともに、健全な市場の拡大を図るため以下の事業を実施した。

(1) ソーイングの普及促進について

平成29年度公益目的支出計画の継続事業として、ソーイングの普及促進について検討した結果、下記の内容を進めることとした。

①第38回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール

次世代を担う若い世代に、家庭用ミシンを使って、創造性豊かな作品を作る機会を提供し、「手作りの喜び」「ソーイングの楽しさ」を体験する中で、ホームソーイングの利用拡大に努めることを目的とし、第38回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業を実施した。更に、平成29年度公益目的支出計画の継続事業（家庭用ミシン事業）として、引き続き内容の検討を行った。

a) 作品の応募状況

○応募作品点数 合計 4,120点（前回は 92.0%）

○応募校数 合計 597校（前回は 94.5%）

b) 審査経過

○高校生の部 写真選考

日 時：平成29年10月下旬

場 所：工業会

○第一次審査

日 時：平成29年12月4日（月）～5日（火） 東京都内

○第二次審査

日 時：平成29年12月16日（土） 東京都内

○審査結果

作品賞、学校賞、入賞作品数一覧は、JASMAホームページ「ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」に掲載。

c) 表彰式等

結果発表は平成30年2月に報道関係へニュースリリースを発表し、入選作品表彰式は平成30年3月3日（土）、13時30分より日本工業倶楽部で開催した。

②「ミシンの日」の事業

平成29年度以降のミシンの日のPRに関する事業等について、関係者と意見交換を行った。

③2017日本ホビーショーへの出展

会期：平成29年4月27日（木）～29日（土） 10:00～18:00（最終日は17:00）

会場：東京国際展示場（東京ビッグサイト）

内容：第37回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール優秀作品の展示及び会員メーカー6社によるソーイング体験コーナー実施等

④経済産業省子どもデーへの参加

日時：平成29年8月2日（水）～3日（木） 10:00～16:00

場所：経済産業省 本館2階会議室

内容：ミシンの説明及び第38回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールのPR、会員メーカー7社によるソーイング小物作り体験を実施等

⑤販売業界との連携強化策の検討

ミシン販売店に技能士（国家検定資格）がいることをアピールするため、店頭へ掲示するための「技能士ステッカー」を作成し、またミシン展示台等を装飾するための販促物「テーブルスカート」を作成した。

(2) 市場の活性化について

- ①家庭用ミシン市場の流通適性を図るため、現行販売機種、新機種、廃機種を把握し、平成29年4月1日及び10月1日現在の一覧表を流通団体等へ通知した。
- ②市場ニーズに的確に対処するため、平成29年1月～3月分及び4月～6月分、7月～9月分、10月～12月分の家庭用ミシン国内販売機種について、価格帯別の流通調査を実施し、調査結果を関係会員へ配布した。
- ③家庭用ミシン流通市場等に関する課題と普及促進等について、全国ミシン商工業協同組合連合会と意見交換を行った。
- ④消費者及び地方公共団体、消費生活センター等からの問い合わせ、ミシンに関する各種の相談、照会に対処した。

3) 工業会活動の活性化及び効率化の推進

工業会と会員の発展のためその活動を広く周知させるとともに、工業会活動のさらなる活性化を図り且つその効率化を推進するため、以下の事業を実施した。

(1) 広報活動について

- ①政府が公表する各種統計を整備して、JASMA統計（ミシンの生産・輸出入）として、平成29年分を毎月発行するとともに、工業会の事業活動をはじめ関係諸機関の動向を取りまとめたニュースレターを毎月発行した。
- ②外部に対して工業会の活動等を広報するため、JASMA会報を年4回発行するとともに、新たに技能士関係の情報を掲載するなど、インターネットホームページの更新・充実に努め、工業会の事業活動等について広報を行った。
- ③日英版「工業会の概要」の修正版を作成した。

(2) 内外関係機関等との交流及び協力に関する事業

①関係機関・団体との連絡協調について

ロボット革命イニシアティブ協議会との協調を図るとともに、経済産業省並びに関係官公庁からの依頼による調査の実施、繊維関係団体との情報共有、資料の交換等を実施した。更に、当工業会が会員として加入している関係団体との協力関係の継続を図った。

②軽機械センターの運営に関する協力について

海外との交流、市場動向フォロー等の事業を進めるため、その一環として軽機械センター（ベルギー・ブリュッセルセンター及び中国・北京センター）の運営に協力するとともに、市場動向等に関する情報を収集し会員へ提供した。

③海外関係機関との交流及び協力について

a) Three Regions Liaison Conference（四地域連絡会議・Texprocess 2017）

日 時：2017年5月11日（木）

場 所：Frankfurt Marriott Hotel（ドイツ・フランクフルト）

概 要：日独米中の各団体から市場の状況と主催する見本市について意見交換が行われた。

b) International Development and Cooperation Forum of Sewing Machinery Industry（国際フォーラム）

日 時：2017年9月27日（水） 14：30～16：30

場 所：Shanghai New International Expo Center（中国・上海）

概 要：日独米中の各団体から市場の状況等についてスピーチが行われた。

(3) 工業会活動の効率化の推進（工業会の収支バランスの回復に向けた対応）

- ①工業会活動の改革・見直しについて
- ②会員の負担軽減の検討について
- ③平成29年度の正会員と賛助会員の会社概要調査結果の取りまとめを行った。

(4) 工業会活動の確実な実施

①公益法人制度改革への対応等について

平成28年度公益目的支出計画実施報告書を提出するとともに、平成29年度公益目的支出計画の継続3事業（家庭用ミシン事業、統計・調査事業、特別出展事業）について検討した。

②JASMAセミナーの開催

日 時 平成29年11月29日（水） 14：00～15：30

場 所 航空会館

講 師 独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ） 海外調査部アジア太平洋課
課長代理 小林 恵介 殿

概 要 ASEAN地域のアパレル・繊維産業動向（ベトナムを中心として）について説明が行われ、参加者は8名であった。

③中小企業等経営強化法に関する証明書発行について

中小企業等経営強化法の固定資産税の軽減措置として、縫製機械等を対象とした証明書を379件発行した。

④生産性向上設備投資促進税制の証明書発行について

平成29年度は縫製機械等を対象とした証明書を34件発行した。

(5) 正会員、賛助会員の充実

内外展示会のJASMAブースでのPR活動及び中小企業等経営強化法に関する証明書の申請受付等に際して、工業会活動内容やメリットを広報し会員獲得に向けた取り組みを行った。

(6) 平成30年度「縫製機械整備作業」技能検定に向けた取り組み

今回の平成30年度厚生労働省所管の国家試験「縫製機械整備作業」技能検定試験に向けて受検者増を図るため、現行の家庭用ミシン及び工業用ミシンの試験対象機種を最新機種へ変更することを検討した。また、技能検定試験及び技能士を広くPRするため、パンフレットやホームページによる広報活動を実施した。

4) 使用技術の普及及び啓発に関する事業

(1) 知的財産権保護対策について

海外製品による知的財産権侵害品の流通実態の把握に努め、適切な対応を行い市場の健全な発展を図るため、以下の事業を行った。

①全世界市場を対象とした「定期的模倣実態調査」及びCISMA2017（2017年9月）会場での実態調査を実施した。

a) 定期的模倣実態調査

ア) 侵害件数 27件

イ) 権利別侵害件数

○意匠権 1件 ○商標権 26件

ウ) 発見国別件数

○中国 22件 ○インド 2件 ○ロシア 1件 ○エストニア 1件 ○欧州 1件

b) CISMA2017模倣実態調査

ア) 侵害件数 217件

イ) 権利別侵害件数

○意匠権 39件 ○特許権 143件 ○商標権 27件 ○その他 8件

②知的財産権保護対策委員会セミナーの開催

日 時 平成30年2月1日（水） 15：00～16：20

場 所 航空会館

講 師 独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）
知的財産・イノベーション部 知的財産課
課長代理 中村 正樹 殿

概 要 海外侵害対策支援事業について説明が行われ、参加者は事務局を含め9名であっ

た。

③政府関係機関の日本貿易振興機構（北京センター、上海センター、ソウルセンター）等の情報を入手し、随時、会員企業へ提供した。

④「国際知的財産保護フォーラム・模倣品対策 情報収集グループ」の会合へ参加し、関係団体等と情報を交換した。

(2) 外部技術視察

日 時 平成29年12月1日（金） 13：00～15：30

場 所 大和ハウス工業(株)竜ヶ崎工場（茨城県龍ヶ崎市板橋町393-1）

概 要 エネルギー使用量や太陽光発電量等が把握できる「FEMS」（Factory Energy Management System・環境に配慮した生産設備を最適に制御するシステム）を見学した。参加者は事務局を含めて7名であった。

(3) 電気用品安全法の技術基準体系の見直しに対応するため、他団体の分科会に参加し情報を収集した。

(4) 内外の環境規制に関する情報を収集した。

5) 生産、流通等に係る調査及び企画の立案・推進に関する事業

(1) 調査事業について

①海外調査

日本貿易振興機構及び軽機械センター（ブリュッセル、北京）等との連携を図り、主要国の需要動向、経済動向等について情報の収集に努め、会員へ提供した。

②国内調査

国が公表する政策、生産、国内流通、輸出入統計並びに諸団体が実施する諸統計資料等を収集整理分析し、「JASMA統計」「ニューズレター」等により会員等へ情報提供した。また、関係当局からの諮問あるいは関連団体、他業界からの照会等に対処した。

(2) 統計事業について

平成29年度公益目的支出計画の継続事業（統計・調査事業）として、ミシンに関する経済産業省の生産動態統計及び財務省貿易統計を毎月入手し、整理・分析を行い、定期的に会員へ提供するとともに、一般に対してホームページで公表した。

(3) 需要見通しについて

内外の経済動向、市場環境、在庫等を勘案し、平成30年（1月～12月）の需要見通しを策定した。

(4) 工業用ミシン・部品・関連機器事業について

情報社会、環境社会及びグローバル化の進展に対する的確に対応し、市場の活性化に努めるとともに、業界の健全な発展を図るため、以下の事業を実施した。

①国内及び海外市場について、日本機械工業連合会から週報等を定期的に収集するとともに、日本貿易振興機構及び軽機械センター（北京、ブリュッセル）から海外情報を収集し、定期的に会員へ提供した。

②グローバル化に対応し国際化に向けて対応するため、日本機械工業連合会の機械安全標準化に関する国際規格等（ISO/IEC）、日本機械輸出組合のWTO等の国際機関の情報及びEPA、FTA及びTPPなどの貿易協定に関する情報、国際連絡会議等で欧米及びアジアの情報を収集し会員へ提供した。

③工業用ミシン会員の意見交換及び情報交換の場を設けるため、技術第二委員会及び市場対策第二委員会の開催検討を行った。

6) 標準化の推進に関する事業

(1) 国内規格（JIS規格等）について

①「JIS B 9960-31（機械類の安全性－機械の電気装置－第31部：縫製機械、縫製ユニット及び縫製システムの安全性とEMCに対する要求事項）」は、対応国際規格「IEC60204-31」

の改正に伴い改正案を作成し、改正JISは11月に公示された。また、「JIS C 9335-2-28（家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第2-28部：ミシンの個別要求事項）は、電気用品安全法の技術基準体系等の見直しに伴い、「第1回JIS C 9335-2-28原案作成委員会分科会」を開催し改正原案を検討した。

②関連団体との交流を図り、規格に関する情報の収集を行い、随時、会員企業へ提供した。

(2) 国際規格（ISO/IEC規格等）について

国際規格活動（ISO/TC148・ミシン）を行い、工業用ミシンの国際規格（ISO 10821）の情報収集を行うとともに、国際標準化協議会及び一般社団法人日本機械工業連合会との交流を図り、機械安全（IEC/TC44）に当業界の専門家が参加し国際規格等の情報収集を行った。

7) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(1) 労働力の確保に関する事業について

業界全般の労務状況について意見交換を行った。

(2) PL対策について

損害保険会社と団体PL保険契約を締結し対応した。

3. 会員

1) 会員の異動

平成30年3月31日付で正会員1社が退会した。

2) 会員数

	正会員	賛助会員	合計
平成29年9月30日現在	36社	5社1団体	42社・団体
退会	1社		
平成30年3月31日現在	35社	5社1団体	41社・団体